

心豊かに暮らし・働く

🕒 Read 4分



心豊かに暮らし・働く10のヒント

快適性と機能性に加え、情緒的な満足感を兼ね備えた環境はそこで働く人の生産性や満足度、仕事に向かう意欲を向上させ、個の能力を最大限に引き出します。

Coalesse (Steelcaseのプレミアムブランド)はその徹底した調査を基に職場の中にどうウェルビーイングを取り入れるかのヒントを提供しています。

1. 境界線を曖昧に。 オフィスとホームの間の境界性を曖昧にすることで、限られたスペースから飛び出してリラックスしたり、思考できる居心地のよい環境を創出できます。



2. 身体をほぐす。人が快適に働くには必ずしも床に足がついていなくてもいいのです。リラックスした姿勢が仕事の生産性を上げるということもあるのです。



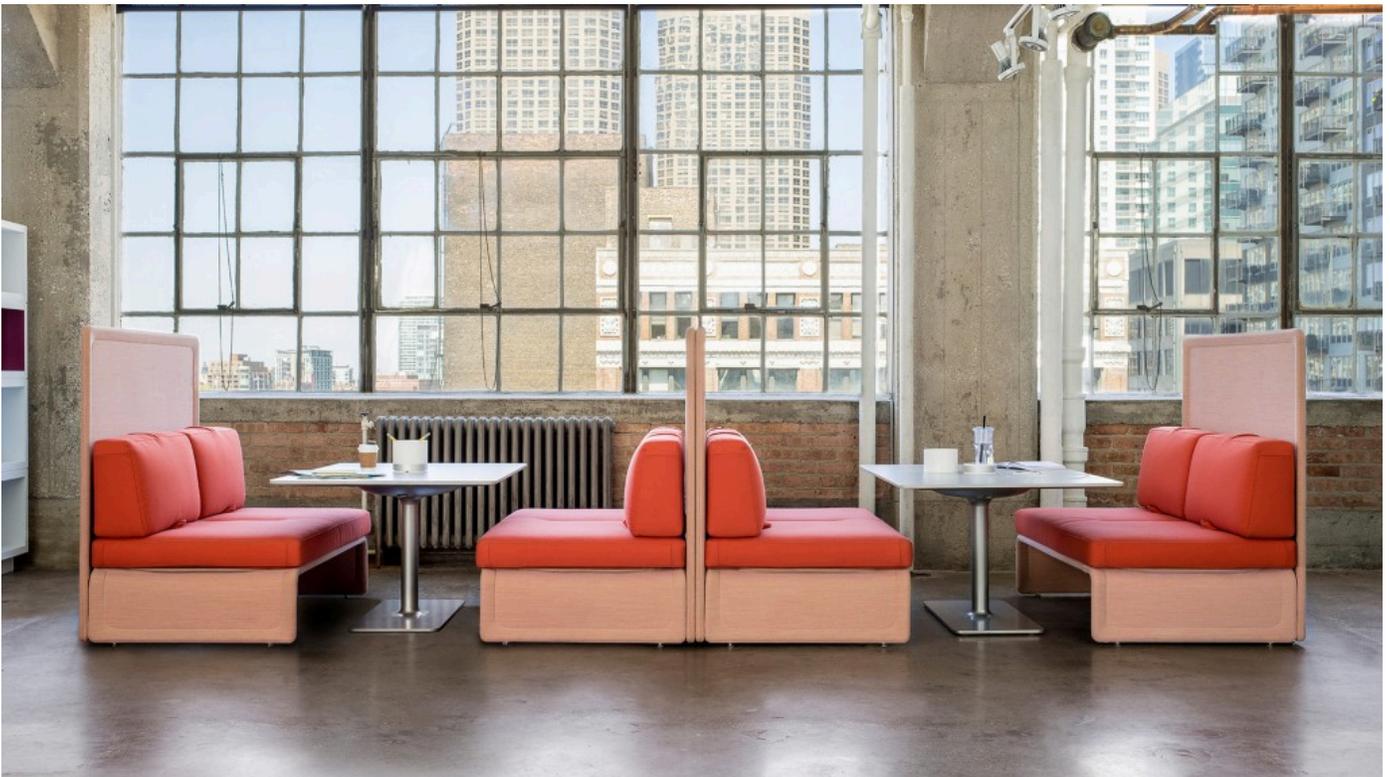
3. 自由に選ぶ。今や、人はどこでも働くことが可能になりました。2分前と2時間前では働いている場所も違うのです。仕事をする「場」はもはや一つではなく、複数存在し、働く「場」を自分でチョイスできることが理想です。



4. ひとりであること。。ほとんどの人が一日のうちで内向的、外向的モードを切り替えながら仕事をしています。時に人から離れ、熟考することで精神的なウェルビーイングが養われます。



5. 気晴らしのすすめ。第3の場所」のような新しいスタイルのスペースを取り込むことで人はリフレッシュしたり、困難な進捗状況にも前向きになったりします。特に電源が便利に完備されていることは必須です



6. アンプラグゾーンをつくる。Wifi や電源もない「ゼロ接続ゾーン」のスペースを設けることで人は互いに目をあわせて会話をしたり、本を読んだり、目を休めたりする機会をつくることができます。



7. 新境地を開く。faナレッジワークは集中して多くのことを成し遂げることを要求されます。従来のデスクスペースから離れ、ラウンジでゆったり座ることで身体をリラックスさせることができ、より仕事もはかどります。



8. 気分を変える。異なるワークモードには異なる環境が必要です。素材やカラーは人の創造的思考を刺激したり、熟考するために心を静める効果があります。



9. 自然を取り入れる。 室外で仕事ができるオプションを与えることでもウェルビーイングは養われます。新鮮な空気や自然光は心身ともにリフレッシュさせます。室外で仕事をする、日光を浴びることは創造性や生産性はもちろん、仕事への士気も高めます。



10. 多くのチョイスをつくる。 ラウンジはある人にとってはデスクスペースになることもあります。多種多様なセッティングやその切り替えを適切にサポートすることで多くの異なるワークスタイルや姿勢に対応した環境を創出することができます。



Featured Products
